

令和5年度地震・津波防災訓練 (内閣府・鹿児島県奄美市)

実施報告書 (概要版)

鹿児島県奄美市について

鹿児島県奄美市は、鹿児島市から南西に約380kmの距離にある奄美群島の中の奄美大島に位置する。平成18年3月に1市1町1村が合併して発足、島の面積の約4割を占め、奄美群島の政治・経済の中核を担っている。気候は亜熱帯海洋性であり、豊かな自然と多くの景勝地を有し、令和3年7月には世界自然遺産登録が正式に決定、更には、古くから伝承された様々な伝統文化を持ち、相互扶助の精神が根付く人情味にも溢れている。

市は、奄美群島太平洋沖地震を始め、南海トラフ地震、トカラ列島太平洋沖地震等が発生した場合に備え、様々な地震・津波対策を行っている。また、一年の内、台風の影響を5回程度受ける台風常襲地帯でもあるため、台風特有の対策にも力を注いでおり、各自治会・自主防災組織等を中心に地域住民等の防災意識も高い。

令和5年度は、市内全域を対象とした地震津波防災訓練を行い、特に津波被害からの人的被害の局限を図るための実動による訓練を行うとともに、名瀬長浜町においては、地区防災計画の中の避難行動要支援者（高齢者等）を主体とした個別避難計画を作成するための測量や聞き取り調査を行う等、じ後の計画作成のための手掛かり・足掛かりを得た。

次年度以降は、本年度の様々な取り組みを市内全域で実行できるよう、訓練成果を拡充して地域防災力の更なる向上に努めていく。



出典：国土地理院

訓練概要

- 訓練想定：令和5年11月19日（日）午前9時、マグニチュード8.0の地震（奄美群島太平洋沖（北部）を震源とする）が発生、奄美市において最大震度6強～6弱を観測、最大8mを超える津波第一波が30分以内に到達する想定で訓練を実施した。
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和5年10月20日（金）19：00～21：00
 【地震・津波防災訓練】 令和5年11月19日（日）9：00～12：00
 【訓練実施後WS】 令和5年12月10日（日）18：00～20：00
- 主催：奄美市、内閣府
- 参加者数：1,743名
- 参加機関：市内全域の自治会・自主防災会、奄美警察署、大島地区消防組合、陸上自衛隊奄美駐屯地、奄美海上保安部、鹿児島地方気象台名瀬測候所、鹿児島県立大島病院、あまみエフエム（協力）
- 訓練項目：シェイクアウト訓練、津波避難訓練、情報伝達訓練、安否確認訓練、避難所開設訓練、物資配給訓練、防災講演会等
- 訓練の特色：市内全域を対象に、シェイクアウト訓練、津波避難訓練等を実施するとともに、防災専門家等による防災講演会を実施
 この際、市職員の参集訓練、災害対策本部の立ち上げ訓練を同時並行的に実施して、市民等への情報伝達要領を訓練

訓練の成果

【成果】

- 市内全域で地区防災計画・個別避難計画の作成を今後推進するため、名瀬長浜町において、訓練準備段階に避難行動要支援者（高齢者等）の自宅を対象とした事前の測量や住民聞き取り調査を実施して、地域の実情を確認し、じ後の訓練実施前・実施後ワークショップ及び地震・津波防災訓練の資とするとともに、次年度以降の訓練実施や各種計画作成要領等のモデルケースを構築した。
- 2回のワークショップ、地震・津波防災訓練を接続させ、各アンケート結果や実動による訓練の状況を映像で確認し共有するとともに、防災専門家の「地震・津波からの避難」に係る講義と参加者によるワークにより、特に、「地震発生時の身の守り方の要領」「自分が位置する場所の標高の正確な把握」「地震発生後の移動開始までに必要とする時間及び避難場所までの移動時間の把握」の重要性等についての理解を深め、更なる防災意識の高揚を図った。参加者からは、「日頃からの事前準備や訓練の実施が極めて大切であり、備えることが重要」という意見が多く聞かれた。

【課題】

- 今回の訓練は、住民が主体の訓練で大きな成果を得たが、今後は多くの学校・職場、災害対策本部の立ち上げ訓練に参集した防災機関、また島外からの観光客（外国人を含む）等の津波避難訓練への参加や、夜間・荒天時の迅速・安全な避難の実施等、想定外を作らない工夫が更に必要である。

10月20日（金）19：00～21：00 訓練実施前ワークショップ

・自然の突発的な動きから逃れるために、地震時の避難環境に応じた避難行動、津波に備えるための標高の正確な把握、的確な安全確保要領の選択について、防災専門家の講義とワークにより理解を深めた。

▼防災専門家 岩船教授（鹿児島大学）の講義



▼ワークショップの様子（長浜集会場）



▼事前の測量等の様子（9/26～28に実施）



11月19日（日）9：00～12：00 地震・津波防災訓練

・午前9時に巨大地震が発生、30分以内に最大8mを超える津波第一波が到達する想定の下市内全域で、シェイクアウト訓練、津波避難訓練等の実践的な訓練を実施した。

・奄美川商ホールでは、避難所開設訓練、物資配給訓練及び防災講演会（防災専門家、鹿児島地方気象台名瀬測候所講師）を行い更なる防災意識の高揚を図った。参加者は特に市の備蓄品の取扱い・操作要領について、終始熱心積極的に取り組んでいた。

▼津波避難訓練

（少しでも高い所へ、少しでも早く！）



▼安否確認訓練

（老人福祉センター）



▼避難所開設訓練

（奄美川商ホール）



▼防災講演会

（名瀬測候所講師）



12月10日（日）18：00～20：00 訓練実施後ワークショップ

・地震・津波防災訓練の実施状況を映像により共有するとともに、これまでのアンケート結果等を振り返り、自宅や集落等における地震津波対策を考えるワークショップを行った。特に、個人・家族・集落でできる避難計画と今後行いたい避難訓練について意見交換を行うとともに災害関連死ゼロを目指した避難所の設営・運営要領等についての理解を深めた。参加者からは「自助・共助」の防災意識が今まで以上に向上した等の意見が多く聞かれた。

▼ワークショップの様子（長浜集会場）

